

こんにちは！

由利本荘市議会です



豊穰を願う矢島八朔まつり(9月13日)

9月定例会

令和7年度決算を認定
8月臨時会・9月定例会 審議結果
政策提案のための委員会所管事務調査
ここが聞きたい 一般質問
8月臨時会・9月定例会トピックス
第35回全国市町村交流レガッタ
市民と語る会
お知らせします 議会の動き
愛LOVEゆりほんじょう

▶P2
▶P3
▶P4
▶P7
▶P10
▶P13
▶P14
▶P15
▶P16



地域でつなぐ、矢島の伝統

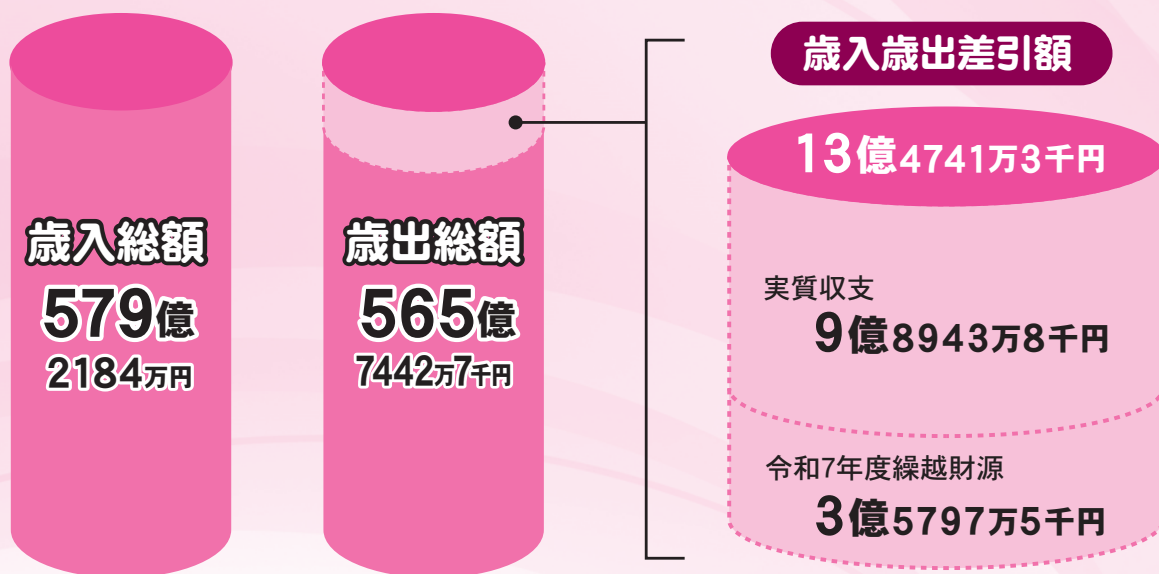


由利本荘市議会だより

令和8年／2026年11月1日 第86号

令和7年度決算を認定

令和7年度 一般会計決算



実質収支は**9億8943万8千円**の黒字

11特別会計の状況

予算現額	歳入	歳出	歳入歳出差引額
211億1986万7千円	211億1536万円	204億4805万5千円	6億6730万5千円

11 特別会計…国民健康保険特別会計、後期高齢者医療特別会計、介護保険特別会計、診療所運営特別会計、情報センター特別会計、奨学資金特別会計、介護サービス事業特別会計、スキー場運営特別会計、小友財産区特別会計、北内越財産区特別会計、松ヶ崎財産区特別会計

企業会計の状況

区 分	総 収 益	総 費 用
水 道 事 業	23億7961万8千円	22億9205万9千円
下水道事業	29億7896万1千円	30億6148万6千円
ガ ス 事 業	12億5713万7千円	11億4903万8千円

市債残高の状況(一般会計)

年度比較	令和7年度	令和6年度
市 債 残 高 計	605億5729万7千円	614億5009万円
市民1人あたり	884,732円	880,373円
当該年度末人口	68,447人	69,800人



8月臨時会

補正予算

可決

- 保育所等物価高騰対策事業 965万5千円
- 水道基本料金負担軽減対策事業 3221万円
- 指定管理施設等エネルギー価格高騰対策支援事業 1985万8千円

9月定例会

人事案件

異議なし

- 人権擁護委員（任期：3年）
- | | | | | |
|----------------|----------------|----------------|---------|--------|
| はや
早
さくら | かわ
川
い | あけみ
井
まつ | 氏（再任） | 岩城地域勝手 |
| しげ
井
まつ | 茂
井
まつ | 和
井
まつ | 氏（再任） | 西目地域沼田 |
| よし
松
まつ | 良
松
まつ | 弥
松
まつ | 氏（新任） | 本荘地域柳生 |
| さか
坂
まつ | ひとみ
坂
まつ | 氏（新任） | 本荘地域薬師堂 | |

条例関係

可決

- 特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例案
- 小友財産区管理委員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例案
- 印鑑条例の一部を改正する条例案
- 選挙長等の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例案
- 火災予防条例の一部を改正する条例案

その他（主なもの）

可決

- 本荘由利広域市町村圏組合の解散について
- 本荘由利広域市町村圏組合の解散に伴う財産処分及び事務の承継について



補正予算（主な事業）

可決

- 障がい児保育事業 2136万円
- 鳥獣被害防止対策事業 693万6千円
- 林道維持事業 1492万7千円
- 学校図書整備事業 200万円（寄付金200万円）
- ため池修繕事業 407万円
- 公共土木施設災害復旧
令和8年7月28日から30日の豪雨災害 550万円
令和8年9月1日から3日までの豪雨災害 540万円

請願・陳情結果

不採択

- 請願第4号
特定利用空港・港湾の指定について危惧されるリスク等の情報を県民に公開することなどを秋田県に求める意見書提出についての請願
I女性会議由利本荘支部 代表 鈴木秀子
紹介議員 岡見善人 栗野希穂
- 陳情第6号
mRNAワクチン（レプリコンワクチンを含む）接種事業中止を国に求める意見書提出についての陳情
宇井 淳

議案表決結果一覧表

○：賛成 ×：反対 欠：欠席

会派・議員名 案件名	高 志 会									明日をひらく					立憲民主党		市民の窓口		公明党	無所属		表決数		議決結果	
	高橋 信雄	伊藤 順男	堀井新太郎	小田 彩	佐藤 義之	甫飯 貴子	長沼 久利	佐藤 健司	大友ます子	佐々木 司	正木 修一	泉谷 起馬	新宅 慈	小松 浩一	渡部 聖一	岡見 善人	栗野 希穂	大友 孝徳	松本 学	佐藤 正人	橋島 達也	小川 光弘	賛 成		反 対
請願第4号	×	×	×	×	×	×	欠	—	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	×	×	×	4	16	不採択

※請願第4号：特定利用空港・港湾の指定について危惧されるリスク等の情報を県民に公開することなどを秋田県に求める意見書提出についての請願
※採決で賛否が分かれた案件を掲載しています。 ※佐藤健司議長は、採決に加わりません。

政策提案のための委員会所管事務調査

市議会では、政策の提案や提言を目指して事務事業の調査を行っています。

この調査は、常任委員会（総務・教育民生・産業建設）ごとに所管する事務事業からテーマを定め、2年間（令和7年11月から令和9年10月）の期間で実施しています。

この度、中間報告を取りまとめましたのでお知らせします。

総務 常任委員会 公共施設等の適正な 管理について

…先進地視察先…

7月13日～15日

●石川県白山市

●富山県南砺市

●岐阜県高山市

1. はじめに

本市の公共施設は令和7年度末で1500弱に上る。修繕・更新費用の増大に加え、人口減少による財源確保が大きな課題となっている。市は公共施設等総合管理計画を策定し、棟数・面積を縮減する目標を掲げ、個別施設計画の見直しも進めている。本委員会では、住民サービスを維持しながら施設の適正配置と計画的な更新を進め

るため、先進自治体の事例を参考に所管事務調査を実施する。

2. 中間報告

(1) 公共施設等の

適正な管理について

少子高齢化や人口減少の進行と相まって、市税や地方交付税の減少を見込まざるを得ない状況にあり、公共施設等の適正な管理による財政の健全化を図ること、また、有効な活用について、検討を行うことを目的とする。

(2) 先進地域の視察から

① 石川県白山市

人口減少のみを理由に施設を削減するのではなく、施設ごとに必要性や利用実態、建物状況を総合的に判断し、一律の削減目標を設けずに適正管理を進めていた。町内会や関係団体、議会と連携した合意形成を重視し、指定管理制度、未利用施設の民間活用など、多様な手法を活用しながら公共施設の

適正管理を進めている。



施設の必要性を見極める白山市

② 富山県南砺市

「どの施設を減らすか」ではなく、「どの施設を将来へ残すか」という考え方へ転換し、明確な数値目標の下で公共施設再編を進めていた。民間への譲渡・貸付を促進するため、固定資産税補助や改修費補助、貸付料減額などの支援制度に加え、民間事業者から幅広く利活用の提



民間活力で再編を進める南砺市

案を募ることで、公共施設の有効活用を図っている。

③ 岐阜県高山市

人口比などに応じて公共施設を一律に削減するのではなく、公共サービスの提供方法や施設配置の最適化を図ることを基本方針としている。公共サービスとしての役割、将来性、地域での必要性といった視点に加え、施設の老朽化や利用実態、代替施設の有無などを総合的に判断している。



公共サービスから施設の未来を考える高山市

(3) 今後の取り組み

これまでの行政視察などを基に、本市の公共施設等総合管理計画の総合的かつ計画的な推進を中心に、予防保全型管理による維持費の低減や民間活力の積極的活用なども模索しながら、公共施設の適正な管理により課題解決を図れるよう調査・研究を行なっていく。

教育民生 常任委員会

健康寿命の延伸に向けた 取り組みについて

…先進地視察先…

7月15日～17日

- 長野県佐久市
- 新潟県見附市
- 新潟県新潟市

1. はじめに

国は2040年までに健康寿命を男女ともに75歳以上に延伸することを目標に掲げている中、本市では、令和6年に「健康由利本荘21計画（第3期）」を策定し、「健康長寿社会」を目指している。しかし、依然として特定健診やがん検診の受診率は低く、がんや脳血管疾患、心疾患死亡率も全国に比べ、高い値で推移している。こうした現状を踏まえ、本市の健康寿命の延伸に資する政策の充実につながるべく、調査・研究を進めていくものである。

2. 中間報告

(1)本市の現状と課題

本市の平均自立期間は男性79・0年、女性83・4年で国や県と同水準であるが、がんや脳血管疾患、心疾患による死亡率が高く、健診



佐久市の長年にわたる取り組みとその結果を伺う

受診率の伸び悩みや若い世代の朝食欠食、高齢期のフレイル増加が課題である。健康施策の推進は、行政が主導するだけでなく本人が自分事として取り組むことが重要であり、施策と市民を結ぶ関係団体との連携、人材確保も課題である。

①長野県佐久市

昭和19年に佐久総合病院が設立され、日本初の集団検診などが健康意識の醸成につながった。

さらに、市民によるボランティアである保健補導員や市の委託事業「ぴんころ運動」が大きく寄与し、「快適健康都市佐久」を実現。

また、近年の医療費の上昇傾向に対しては、その適正化に向け、レセプトデータを活用したプッシュ型通知などの他、特色ある教育

機関の誘致など、佐久市の人を呼び込むまちづくりは人口社会増を10年以上維持している。

②新潟県見附市

健康政策を個別事業として捉えるのではなく、県内最小の面積を生かしたコンパクトシティの考え



施策の推進役となっている「市民交流センターネーブルみつけ」

方を基盤として、都市計画、公共交通、教育、子育て、地域コミュニティ等を横断的に連携させた総合的政策「スマートウェルネスみつけ」を推進することで、市民が日常生活を送る中で自然と健康づくりにつながるまちづくりを目指しているという特徴があった。また、市職員がボランティアで地域コミュニティに関わる地域サポート制度により、行政と地域の協働によるまちづくりを進めている事も特徴的な政策であった。

③新潟県新潟市

疫学データや健診データに基づいた明確な地域課題の設定と、それに対する施策を地域・職域が一体となり展開している点が特徴的。また、健康経営認定制度を通じて企業を巻き込んでいる点など、行政の枠を超えた「健康づくりネットワーク」を構築し、インセンティブを効果的に活用しながら地域全体で健康づくりを推進している。

(3)今後の取り組み

本市で進める健康づくりの現状と課題を踏まえた先進地域への調査活動より、「健康づくりは、まちづくり・人づくり」に通じるという印象を持った。これから多くの市民が自分事として取り組める健康づくりの提案、健康寿命の延伸に資する組織の在り方、人材育成などについても研究を重ねたい。



健康づくりネットワークを学びに新潟市役所へ

産業建設 常任委員会

鳥海山・飛島ジオパークの観光・地域振興への活用について

…先進地視察先…

7月6日～8日

●新潟県糸魚川市

●富山県黒部市

1. はじめに

本市、にかほ市、遊佐町、酒田市の四市町で構成される鳥海山・飛島ジオパークの遺産を保全し、教育や他地域との交流、現地での体験に活用しながら、地域活性化に繋がる方策を研究・調査して行くことを目的とする。

2. 中間報告

(1)本市の現状と課題についての分析
所管課より、市民への認知度、観光振興、教育活動、地域振興への貢献など、本市のジオサイトにおける現状と課題について伺った。現状として、各エリアに認定されたガイドが登録されており、保護安全班、ツーリズム班、教育普及班に分かれており、市から依頼する形での各種イベントに参加することが多い。

課題としては、日常的にいくつ



糸魚川市役所での座学

かの場所を巡る周遊旅行がなく、範囲が広域なため資源はあるが観光消費につながりにくいなど、大地の物語を学び楽しむ観光商品がない。

ジオサイトの看板・解説が十分と言えず、SNSや観光媒体での情報発信において更新頻度が低く、情報発信・ブランド化が弱いいため、ジオパークを知らない市民が多く、学校での周知も十分と言えない。

(2)先進地での視察から

①新潟県糸魚川市

糸魚川ジオパークの拠点施設、フォッサマグナミュージアムを見学し、糸魚川のジオパーク活動と地域振興の現状説明と成果評価を伺い、本市の課題である事項の取り組みについての説明を受けた。ジオサイトの情報発信は、ガイ

ドブックなどの紙面やパソコンなどの通信上での紹介、テレビやラジオなどで広く発信し、積極的な展開の必要性を再認識した。

②富山県黒部市

富山県東部の9市町村で構成される、立山黒部ジオパークの中で、中心的な活動をされている黒部市に伺い、ジオパークの組織と支援体制、ジオパーク活動と地域振興の現状説明と成果評価を伺った。ジオパークに関する学習プログラムが実施され、小学生を中心に総合的な学習で様々な体験学習が行われていた。例として、トロツ



立山黒部ジオパーク交流施設「うなジオ」

コ電車を活用したふるさと教育・理科学習など実施されており、学習プログラムへ参加の児童は年間一千名を超えている。

また、ジオサイトを地域で守っている地区では、森づくり事業など、様々な事業を行い、市民のジオサイト保護意識の高さに驚いた。



宇奈月駅からトロツコ電車に乗車する

(3)今後の取り組み

市民への周知と学習プログラムなど、教育が重要である。

また、鳥海山・飛島ジオパークのジオサイトに足を運び、現状を見て体感することによって、強み・魅力・所見・そして何が足りないのかを体験し、調査していく。

そして、貴重な地域資源を観光・地域振興へ活用していく方策を追求していきたいと考える。

一般質問

一般質問とは、議員が行う市政全般についての質問です。
すべての質問項目は次のとおりです。(内容を掲載している項目番号には、○をつけています。)

7P 小松浩一 (明日をひらく)

- ① 組織改編後の総合支所の現状と今後の方針について
- ② 今後の公民館の在り方と地域づくりについて
- ③ 閉校後の校舎の利活用について
4. 矢島高校における学校給食提供の実現について

8P 大友孝徳 (市民の窓口)

- ① 令和8年熊本地震を受けて
- ② 広報紙「ゆりほんじょう」について
- ③ 公民館条例に規定する公民館等のテレビケーブル切断について
4. 不登校対策について

9P 大友ます子 (高志会)

- ① 学校給食費と子育て世帯支援について
- ② 交通空白地域における移動手段の確保について
- ③ 頻発化、激甚化する自然災害に対する防災・減災について
- ④ 地域経済の活性化と地域事業者の事業継続について

8P 堀井新太郎 (高志会)

- ① 中山間地域等直接支払制度にかかる農業振興政策について
- ② クマ・鳥獣対策について
3. 児童・生徒のスクールバス等の送迎による体力低下について
- ④ 消防団活動における環境整備について

9P 岡見善人 (立憲民主党)

- ① 第5次由利本荘市行政改革に係る実施検証と今後の取り組みについて
- ② 介護職の「離職防止・定着」に向けて
- ③ 米価下落に伴う対策と稲作農家への支援について

10P 佐藤正人 (公明党)

- ① 自主防災組織の共助は
2. わが家の防災マニュアルの活用は
3. 通電火災対策は
- ④ 避難所として普通教室等の活用は



9月定例会では、
6人の議員が質問に立ちました。
YouTube配信をQRコードより
ご覧になれます。



問 地域公民館や地区公民館の在り方をどのような場で検討するのか。また、現段階での方向性は。

今後の公民館の在り方と地域づくり

答 市民がどう受け止めているのかを把握することは大変重要なことと考えている。来庁者へのアンケートの実施などについても検討していきたい。

問 市民の方々がどう感じているかを把握することが重要なのではないか

答 支所職員からは大きな問題は生じていないとの報告を受けている。

問 改編後以降の総合支所の現状は。

組織改編後の総合支所の現状と今後の方針



小松浩一
(明日をひらく)



答 学びの場の確保や地域コミュニティの維持向上につなげるように検討し、議員や市民への丁寧な説明を行い見直し作業を進めていく。地域・地区公民館とともに、地域コミュニティや学びの場の確保、防災拠点の役割を担う施設として存続させていきたい。

問 閉校後の校舎利活用の方針をどのように考えているのか。

答 市の施設や地域住民による利活用に至らない場合、「空き公共施設利活用促進条例」に基づき、地域振興や雇用創出につながる活用を条件に事業者へ幅広い用途で貸付を行っていく。

問 旧小友小学校校舎の利活用の対応は。

答 市と地域住民で検討を重ねてきたが具体的な活用案の策定に至らなかった。「空き公共施設利活用促進条例」に基づく貸付に向けて必要な準備を進めている。





堀井新太郎
(高志会)



中山間地域等直接支払制度にかかると農業振興政策について

問 制度の認識と交付金対象外となる農家への対応は。

答 農業生産上の条件が不利な中山間地域において、支援するもの。所得基準を超えた場合は、交付金の対象外となるが、農業現場の実情や率直な思いを受け止め、制度の趣旨や運用について丁寧な説明に努める。

クマ・鳥獣対策について

問 イノシシなどの被害の実態把握とその対処は。

答 農家からの被害相談や、現場確認などを通して把握している。近年、イノシシによる農作物被害が増加していることから、市独自の制度である電気柵設置補助の対象補助品目に、今年度より水稲、そば、花きを追加した。さ

らに、「くくりわな」や「箱わな」による有害鳥獣の捕獲を強化する。



鳥獣捕獲用箱わな

消防団活動における環境整備について

問 消防団格納庫に常設トイレの設置は。

答 現在、トイレ、休憩室等のついた「拠点型格納庫」は91棟、車両や資機材を保管する「車庫型格納庫」が30棟である。今後は人口減少などを踏まえた組織再編と合わせて検討の上、「拠点型」への集約が必要であると考え、必要な機能の充実を図っていく。



拠点型消防倉庫

令和8年熊本地震を受けて



大友孝徳
(市民の窓口)



問 熊本地震は酷暑時の発災であり、熱帯夜の中、エアコンの無い体育館で雑魚寝する状況が報道された。夏季災害時の避難所の暑熱環境対策を、更に強化する方針はあるのか。

答 本市の指定避難所のうち、収容者を多数確保できる小中学校の体育館には冷房設備が無い。国では地域防災計画で、指定避難所となっている小中学校体育館などへのエアコン設置率を、100%にする目標であり、その動向を注視する。

広報紙「ゆりほんじょう」について

問 昨年11月の市議会全員協議会で、月1回36ページを目途に発行としていたが、月平均28・8ページしかなく、画一的な紙面となっている。もっとペー

数を増やし、目次に合ったレイアウトを工夫すべきでは。

答 総ページ数を決めるプロセスが難しいが、画一的な対応ではなく、メリハリのある紙面構成に努める。

公民館などのテレビケーブル切断について

問 経費節減のために、公民館などのケーブルテレビを解約することは、事前に地域の方々に説明されていたのか。指定避難所のテレビは視聴できる状態に戻すべきでは。

答 常時視聴されておらず、撤去しても支障がないと判断したことから、本荘地域の指定避難所7カ所のケーブルテレビを、事前に説明せずに解約した。指定避難所開設時には市職員が常駐し、インターネットの情報をモニターに映すなどの対応に取り組む。



解約され視聴できない指定避難所のテレビ



岡見善人
(立憲民主党)



第5次由利本荘市行政 改革に係る実施検証と 今後の取り組み

問 支所などの事務集約に伴う現場の課題や今後の改善に向けた市長の見解は。

答 業務はおおむね円滑に行われており、大きな混乱や市民サービスの低下は生じていないものと認識している。総務課による総合支所訪問や職員からの聞き取りも継続しながら、業務量や人員配置状況の把握に努め、必要に応じて業務の見直しや運用の改善を図っていく。

介護職の「離職防止・ 定着」に向けて

問 介護職の実に全体の約74%が採用後3年未満で離職している。ここを重点的に支援していく考えがあるか。

答 令和9年度以降に向けた「第10期高齢者保健福祉計画」の策定にあたり、市内介護事業者に対し、現在行っている採用者数及び離職者数の状況などに関するアンケート調査の結果や各種指標を十分に精査し、離職防止・定着に関する政策について、検討し計画に反映させていく。

米価下落に伴う対策と 稲作農家への支援

問 今回の急激な米価下落に対する市長の受け止めと、減収に直面する農家への独自支援は。

答 本市の農業生産基盤そのものへの影響も避けられない、極めて重要な問題と受け止めている。米価下落への独自支援については、難しい面はあるが、これまでも担い手の確保・育成など各種支援策を講じており、

今後も米価の変動にも対応できる持続可能な農業経営と生産基盤の強化に取り組んでいく。



米価下落



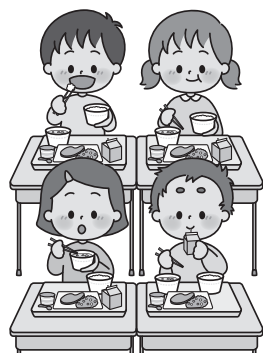
大友ます子
(高志会)



学校給食費と 子育て世帯支援について

問 中学校給食費の完全無償化の方針は。

答 市単独での完全無償化は困難なため、引き続き国や県の動向を踏まえ、他自治体の取り組み状況を注視しながら情報収集に努める。



問 入学祝いクーポンを進めるべきでは。

答 制度の公平性と持続可能性の観点から、市での実施は難しいため、既存制度の周知と利用促進とともに、補助教材や学用品等の負担軽減に努める。

交通空白地域における 移動手段の確保について

問 交通空白地域における移動手段の確保の考えは。

答 「ゆりほんのれッタ」の本格運行に向けさまざまな課題があり、エリア拡大は想定していない。利用者ニーズや地域特性を考慮した適切な交通モードの選択による、持続可能な公共交通ネットワークの構築に取り組む。

頻発化、激甚化する自然災害に 対する防災・減災について

問 頻発化、激甚化する自然災害の市民への情報伝達手段の見直しの考えは。

答 今後の防災行政無線全体の更新や、機材の入れ替えなどの機会を捉え、代替手段の動向も注視しつつ、多角的に研究する。

地域経済の活性化と 地域事業者の事業継続について

問 地域経済の活性化支援策の考えは。

答 経済状況や事業者への影響なども見極めながら、必要な支援策を検討する。



佐藤正人
(公明党)



自主防災組織の共助は

問 多発している自然災害に対して、**多発している自然災害に対して、**を養成することは大切であるが、自主防災組織における共助が重要ではないだろうか。

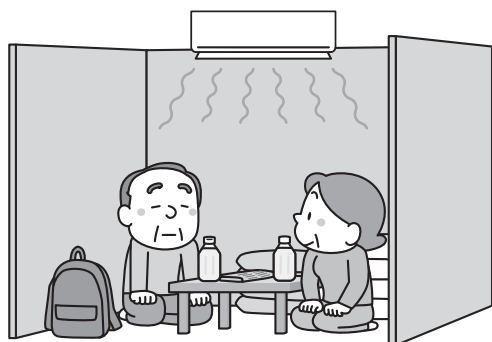
答 大規模災害で、発災直後に倒壊家屋から救助された方の8割以上が近隣住民などの手助けによるものであった。住民一人ひとりの「自助」に加え、地域社会が一体となつて助け合う「共助」が不可欠であることが明らかである。地域防災の核となる防災士にはまちづくり宅配講座や各種防災訓練へ積極的に参加・協力をいただき、居住地域の共助力の底上げと、連携強化に期待したい。

市としては、自主防災組織や防災士と協働し、自助、共助に基づく地域防災力の醸成と持続可能な地域防災体制の維持、増進に取り組んでいく。

避難所として 普通教室などの活用は

問 熊本県地震において、避難所によっては空調設備が整わず、冷房のないところもあり、教育委員会に普通教室などの利用について通知があった。本市において、普通教室の利用は可能であるか。

答 人命を第一とし、そのためには良好な避難環境の確保が重要であることから、学校の教育活動への影響を考慮しながらも、普通教室での避難者受け入れに対応してまいりたい。



酷暑時には普通教室などでの避難も可能とする



8月臨時会・9月定例会のトピックス

8月臨時会が、8月10日に開催され専決処分報告1件、補正予算2件が可決されました。

9月定例会は9月2日から9月24日までの23日間の会期で開催され、令和7年度決算認定15件、人事案件4件、条例関係5件、補正予算7件、その他2件の計33件が審議され、すべてが原案のとおり可決されました。

また、請願1件、陳情1件については、いずれも不採択と決しました。

文中の記号は次のとおり所管委員会を表しているものです。

(総) … 総務常任委員会 (教) … 教育民生常任委員会 (産) … 産業建設常任委員会

都市ガス改良工事

都市ガスガバナ監視システムを更新しました。

問 都市ガスガバナ監視システムとは。 (産)

答 都市ガスガバナ監視システムは、市内にあるガス設備(ガバナ)を24時間見守る安全システムで、ガバナとは、ガスの圧力をちょうどよい強さに調整し、家庭やお店へ安全に届けるための装置。

由利本荘市火災予防条例の一部の改正

焼肉店などの排気ダクトの適切な管理について条例を改定します。 (総)

問 周知の方法は。

答 市民全体にはホームページやSNSなどで、事業者には立入検査の際に周知に努めたい。

障がい児保育のための職員加配支援事業

障がい児保育の充実と保育従事者の処遇改善を図ります。 (教)

問 事業の内容は。

答 市単独の障がい児補助金に対する上乗せ補助制度を県が創設したもの。

対象施設は市内の私立保育所と認定こども園で、6月1日時点での市内の加配職員数は20施設で計35.6人。補助額は対象職員1人あたり月額5万円（最大年額60万円）である。

本荘由利広域市町村圏組合の解散

解散に伴う財産処分及び事務の継承について説明します。 (総)

問 養護老人ホーム寿荘が市の直営となるが将来的にはどうなるのか。

答 市への引き継ぎ後の運営については指定管理なども含め検討していく。

獣害対策用品購入

市主催及び共催イベントの安全対策に使用します。 (産)

問 獣害対策用品の種類と内容は。

答 屋外観光イベント開催時における、来場者や関係者の緊急的な獣害対策として、クマよけホーン40個、クマよけスプレー7本を購入し、イベント開催時の安全対策として準備した。



クマよけホーンとクマ撃退スプレー

ごみ減量化推進事業

これまでの指定ごみ袋は10月末までの使い切りとなります。 (教)

問 未使用の指定ごみ袋はどのようにするか。

答 各家庭で残った旧指定ごみ袋については、市役所および総合支所などで11月以降、無償で引き受ける方向で検討している。詳細は決定次第、市広報やホームページなどで周知する。旧指定ごみ袋は無駄にしないよう学校や市有施設で使用の予定である。

鶴舞小学校校舎改築事業

教室の間仕切り壁を防火上主要な間仕切り壁の設置へ変更します。 (教)

問 変更の理由は。

答 当初、共有スペースを最大限に活用した間仕切り設計案で進めていたが、実施設計の段階で防火上主要な間仕切り壁の必要性が新たに判明し、すべての教室において天井裏まで達する耐火構造の壁を設置する仕様に変更した。

なお、工期については学校休業中の工事とするため今年度の冬休みから工事を行い、令和9年度の夏休みに工事完了となる。



黒枠部分に間仕切り壁を設置

令和6年7月豪雨工事請負費追加

国庫補助事業の未着手林道童子線見直し。

問 これまでの経緯は。 (産)

答 林道施設災害童子線は3箇所にわたり寸断されており、これまで工事契約が4回も入札不調となっている。契約の締結に向けて工事請負費を見直した。

基幹系業務システム管理費の減額

基幹系業務システム総合サポート業務委託のうち、生活保護WAISEが秋田県共同システム利用へ移行します。

(総)

問 移行の経緯は。

答 県から紹介があり、県と共同の利用であれば利用料が安くなることから移行を決めた。

電力量計子メーター交換修繕

指定管理施設の電力子メーターを購入。

問 日頃のメーター管理方法は。

(産)

答 各指定管理者が点検を行なう。各施設において有効期限切れが判明したため一括発注を行なった。

カダーレ大ホール修繕

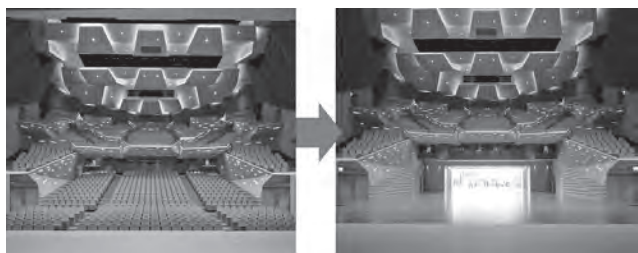
ロールバック装置を修繕します。

(産)

問 修繕によりロールバック装置は使用可能となるのか。

答 観覧席を折りたたんで収納するロールバック装置に不具合が発生し、修理・維持していくには多額な費用が発生するため使用を中止していたが、指定管理者より修繕と運用の新提案が示された。

修繕後の運用上の安全対応策を示し使用可能とした。



ロールバック装置でスーパーボックスになるカダーレ大ホール



岩城会館空調設備の修繕

岩城会館の「高城の間」および「ホール」空調を修繕します。

(教)

問 修繕に至る経緯とその内容は。

答 令和8年8月4日、岩城会館1階「高城の間」の天井から漏水が発生、調査の結果ファンコイルユニット（空調設備）本体からの漏水が原因と判明した。

また、同時期に1階「ホール」の冷房が効かなくなり、配管の一部から漏水が発生し、冷房機能が著しく低下していたことが判明したことから、利用者の健康面や快適性を考慮し、早急な修繕を必要と判断した。



空調設備の修繕を進める岩城会館

観光施設費追加

道の駅等修繕、温泉施設補償補填をおこないます。

(産)

問 主な内容は。

答 岩城オートキャンプ場のコテージ修繕、総合交流ターミナルばぼろっこのジャグジー自動制御弁更新、道の駅にしめはまなすの里の電気設備・空調設備修繕などの不具合解消のための補正。また、鶴舞温泉・ぱいんすば新山の設備故障に伴う営業補償を追加した。

令和7年度一般会計決算

歳出総額が、前年度比51億1386万2千円で約1割増となりました。

(総)

問 決算が膨らんだ背景は。

答 災害復旧関連経費の増加に加え、学校建設関係の事業など大型事業が重なったことから、前年度に比べて決算額が多くなった。

第35回全国市町村交流レガッタ喜多方大会

市議会クルー2連覇で男女総合優勝に貢献

9月26日（予選）、27日（決勝）の両日、福島県喜多方市の荻野漕艇場を会場に全国大会が開催されました。この大会は、青森県から鹿児島県までの32加盟自治体で構成する全国ボート場所在市町村協議会が主催するもので、全国から選手・関係者約800人が参加。漕ぎ手4人と舵取り1人の計5人で乗艇する「ナックルフォア」500メートルで熱戦が繰り広げられました。

全国大会出場に向けて市議会クルー（子吉川チーム・鳥海山チーム）は、5月から毎週1回の練習を重ねてきました。練習では、ローイングマシンを活用した基本動作の確認に加え、議員クルーの高い年齢層（最年長漕ぎ手 70 歳）を踏まえて、小さな力でも効率よく艇を進める「ハイブリッド漕法」の習得に取り組みました。その成果が着実に表れ、議会議員の部では決勝タイム2分06秒を記録。昨年同様に優勝を争った東郷町議会に約6秒の差（2挺身半差）を付け、2年連続、通算6回目の優勝を果たしました。

また、本市から出場した5クルー（昨年の子吉川レガッタ各種目優勝チーム）とともに、「チーム由利本荘」として力を結集。女子総合では、本荘由利森林組合 L が女子160歳未満の部で初優勝を飾るなど各クルーが健闘。2回目の女子総合優勝（鎧塚杯）に輝きました。

平成29年に子吉川ボート場で開催された全国大会以来、9年ぶり3回目となる男女総合優勝（会長杯）を成し遂げ、「ボートのまち・由利本荘」を全国に力強く発信しました。



議会クルー2連覇



歓喜の9年ぶり男女総合優勝

■議会クルーメンバー 監督兼コックス：伊藤順男 整調：佐藤義之 3番：松本学
2番：橋島達也 バウ：長沼久利 補漕：佐藤健司 補漕：佐々木司

..... 出場クルー成績

議会議員の部	由利本荘市子吉川	決勝 第1位
女子160歳未満の部	本荘由利森林組合L	決勝 第1位
女子160歳以上の部	なんもだす！	決勝 第5位
男子160歳以上の部	本荘由利森林組合	決勝 第3位
男子160歳未満の部	俺達。	決勝 第6位
男女混合の部	チームiKEYAKU	交流戦 第2位



令和8年度 由利本荘市議会市民と語る会

「高校生と語る会」開催



令和8年8月5日（水）カダレを会場に、令和4年度以来5回目となる「高校生と語る会」を開催いたしました。今回は市総合計画「ゆりほん未来プラン」における基本構想において、目指す10年後のまちの姿として示されている「市民一人ひとりが希望を叶え自分らしく暮らすまち」について、事前アンケートを基に話し合うこととしました。

当日は、市内5校の高校生22人と市議会議員18人（議長などを除く）が9つのグループ分かれて「今後の由利本荘市に取り組んでほしいこと」について話し合いました。およそ1時間30分を超えるワーク

ショップでは、多様な視点で由利本荘市のまちづくりについての意見交換がなされました。その後、全体会を行い、各グループの発表を行い、情報共有を行いました。各グループの協議において出された主な意見をご紹介します。

- 若い世代や高齢者の声を反映したまちづくり
- 公共交通の利便性向上
 - ・ コミュニティバス等とJRや路線バスの接続
 - ・ 市民アンケートによるコミュニティバス運行の改善
 - ・ ゆりほん のれッタの拡大及び充実
- 安心して住みやすいまちづくりを
 - ・ クマ対策や子育て支援の充実
 - ・ 災害に強いまちづくり
 - ・ 医療の維持
- 豊かな暮らしができるまち
 - ・ 働く場や職業選択が豊かなまち
 - ・ 人が集まる場所づくり
- 地域のつながりや世代間交流のあるまち
 - ・ 若者と高齢者の交流
 - ・ 伝統芸能や地域行事への参加
- 若者が楽しめるまちづくり
 - ・ 駅前の活性化
 - ・ 現存する施設の有効活用



開催後のアンケートでは「様々な意見や考え方から、由利本荘市の課題や取り組めることを知ることができた。」「今まで考えていなかったまちづくりについて話し合うことができて良かった。」などの感想が寄せられ、22人中21人が語る会に参加して「良かった」、1人が「まあまあ良かった」との回答結果となりました。他校の生徒との交流や多様な考えに触れ意見交換ができたこと、また普段語ることのない由利本荘市のまちづくりについて、市議会議員とも語り合えたことへの充実感が感じられるアンケート結果でした。

議会では、今年度も今回の語る会の内容を報告書としてまとめ、市当局に提出いたします。今後も、若い世代のまちづくりへの思いが市政に反映されるように取り組みます。



議長交際費

	7月	8月	9月
慶祝、 協賛など	78,358円 (9件)	28,980円 (3件)	20,356円 (4件)
弔 事	0円 (0件)	10,000円 (1件)	10,000円 (1件)



【議長交際費】
詳細はこちらから↑

議会を見よう！知ろう！

▶ 次の定例会は12/1～12/18 ◀

本会議でどんなことがどのように話し合われているのか、様々な手段で知ることができます。皆さんの暮らしに直結していることばかりです。ぜひご覧ください。

- ★議会を傍聴！ライブで！
- ★会議録で読む
- ★ケーブルテレビで生中継
- ★由利本荘市議会YouTubeチャンネルでライブ配信



由利本荘市議会YouTube
チャンネルはこちら→



市議会カレンダー

● 12月定例会の予定 ●

日	月	火	水	木	金	土
11/15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	12/1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26



11月20日(金)
正午までに受理する
請願・陳情を審議
する予定です

12/1
本会議
(開会)

6

7
本会議
(一般質問)

8

本会議
(一般質問)

9

本会議
(一般質問)

10

常任
委員会

11

常任
委員会

13

14
常任
委員会

15

16

17

18

19

20

21

22

23

24

25

26

議会日誌

(7/1～9/30)

7月 1日 岩手県矢巾町議会行政視察来訪
3日 議会報編集特別委員会
10日 議会報編集特別委員会
13日 山形県村山市議会行政視察来訪
22日 議会改革特別委員会

8月 4日 議会運営委員会
5日 市民と語る会「高校生と語る会」
10日 臨時会
議会全員協議会
総務常任委員会協議会
教育民生常任委員会協議会
産業建設常任委員会協議会
20日 議会改革特別委員会
25日 議会運営委員会

9月 2日 本会議(開会)
議会全員協議会
8日 議会運営委員会
本会議(一般質問)～9日
9日 決算審査特別委員会
教育民生常任委員会協議会
10日 委員会(議案審査) 決算審査特別委員会～11日
17日 決算審査特別委員会(主査報告)
議会全員協議会
議会改革特別委員会
24日 議会運営委員会
本会議(閉会)

議長公務(主なもの)

7月 3日 由利畜産共進会
5日 消防訓練大会
8日 東北日本海沿岸市町村議会協議会総会
9日 各期成同盟会等合同整備促進大会
11日 旧藩祭
18日 本荘マリーナ海水浴場安全祈願祭
日本海洋上花火大会
23日 秋田県市議会議長会第1回定例会(能代市)～24日
30日 東北日本海沿岸市町村議会協議会中央要望(東京都)～31日



【議長公務】
詳細はこちらから↑

8月 2日 矢島カップMt. 鳥海バイシクルクラシック
7日 交通安全市民大会
8日 いわきおどり(福島県いわき市)
9日 親子都市締結40周年記念式典(福島県いわき市)
16日 鳥海獅子まつり
18日 日本海沿岸東北自動車道山形・秋田県境区間建設促進大会(にかほ市)
22日 齋藤幸悦氏旭日双光章受章祝賀会
韓国梁山青年会議所訪問団来荘歓迎レセプション

9月 1日 石川善兵衛翁の功績をたたえる植林記念祭
5日 市総合防災訓練
13日 本荘追分全国大会
26日 全国ボート所在市町村協議会議長懇話会
29日 新山小修祓式・創立60周年記念竣工式
羽越本線高速化シンポジウム
30日 各期成同盟会等県内要望(秋田市)



議会の予定は変更になる場合があります。
詳細は議会事務局までお問い合わせください。(TEL24-6386)



矢島中学校 1年

はた ざわ おう た
畑澤 煌太 さん
(町内名 沢内)



西目小学校 6年

さ さ き げん
佐々木 源 さん
(町内名 海士剥)

未来の街づくりに向けて

2 010年代以降、急激な人口減少が全国的に進んでいます。我が由利本荘市も、とうとう6万人台になってしまいました。しかし、少ない人口のまち矢島でも、お互いに工夫して生活していると思っています。伝統の八朔まつりもそうです。そして、私たち矢中生は「三道(書道・剣道・茶道)教育」を地域の方々に支えていただいています。

こんな地域のよさが続き、未来を明るいものにするために、私は街づくりに関係する仕事に就きたいと思っています。議員のみなさんが一生懸命協議してくださっていると思いますが、「免許返納でバス定期交付」や「子育て世帯マイホーム補助」など、自分なりに考えていることもあります。実行可能なアイデアで未来の街づくりに参加できるように、矢島を大切に思う気持ちを忘れず、様々なことに挑戦し、励んでいきたいです。

生まれ育ったこの地を大切に

ほ くが住んでいる西目には、景色がきれいな場所がたくさんあります。中でも、ぼくが一番好きなのは御月森から見る景色です。

鳥海山が何にもさえぎられることなく美しく見えるし、海に沈む夕日も、いつ見てもすごくきれいです。春は長く続く桜並木が美しく、秋はすす虫の鳴き声がとてもきれいに聞こえるすす虫ロードもほくのお気に入りの場所です。以前、学校のクラブ活動で、みんなと西目川に入り、生物を観察したことがありました。そのとき、思っていたよりも生息している生物の種類が多く、感動したのを覚えています。

ぼくは、自然豊かで美しい景色がたくさんある西目が大好きです。これからも生まれ育ったこの地を大切にしていきたいです。

まちの声から



鳥海地域

まつた ひかる
松田 陽光 さん
(町内名 下伏見)

充実した子育て支援を

私たち夫婦は秋田市から地元鳥海に戻り、約1年が経とうとしています。自然の恵み、鳥海の人々の温もりに地元の良さを改めて実感しています。私たちを受け入れてくださったご近所の皆さまにはとても感謝しています。

私たち夫婦にもありがたいことに、新たな命を授かることができました。これから生まれてきてくれる子が、由利本荘市で暮らしていく中で、遊びや学びが充実した環境で成長してほしいと願っています。由利本荘市全体が活性化できるように、充実した子育て支援を望みます。人口減少など多くの課題があるとは思いますが、由利本荘市民が生活しやすい環境を整えていただきたいと思います。これからの政策に期待しています。

編集後記

先日、娘に「沼」という言葉の新しい使い方を教わりました。

私にとって「沼」は、冷たいとろりとした水のたまる足を踏み入れると抜け出せないような場所、を表す言葉だったのですが、彼女たち若者は心が引き寄せられていく様子やその対象を表す言葉として使っているとのこと。

心が魅かれる相手を「沼」と呼ぶこの感性。一言に好意と言っても、そこにはさまざまな色合いの感情が入り混じっていることをうまく表現しているなと感心しました。

一つの言葉の意味するところを、私たちがその言葉に対して抱いている微妙なイメージも含めてうまく捉え、軽やかに使いこなす彼女たち。最近忘れていた「言葉と楽しくつきあう姿勢」を思い出させてくれました。

(新宅 慈)

議会報編集特別委員会

委員長 佐藤 正人
副委員長 大友 孝徳
委員 橋島 達也
新宅 慈
小田 希
栗野 順
伊藤 男

(議席順)